

第112回勉強会「ジオラボ」のご案内

主催:(公社)地盤工学会九州支部／長崎地盤研究会

共催:長崎県測量設計コンサルタント協会 後援:長崎県技術士会

日 時:平成29年6月9日(金)14:00～17:00

会 場:長崎大学文教キャンパス サイエンス&テクノラボ棟 2F セミナー室2

(長崎市文教町1-14、095-819-2618)

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/access/bunkyo/index.html>

参 加 費: 1,000円(資料代含む)

話題提供:14:00～17:00(①:14:00～15:30／②:15:30～17:00の予定)

①ベアリングプレートによる支保内圧効果とそれに基づくロックボルトの簡易設計法

土門 剛 先生(首都大学東京大学院 助教)

概要: トンネル掘削において周辺地山に過度な影響を与えることなく掘削するには、地山の変位を支保内圧によって抑制するか地山自身に改良を加えて強度を増すかのいずれかである。本報告では、低強度地山トンネルにおける軸対称に打設したロックボルトを対象に、ボルト頭部に設置したベアリングプレートがトンネル壁面に支保内圧を与えるとの認識に立ち、i) ベアリングプレートによる支保内圧効果の実証、ii) 簡便な力学モデルの構築、iii) 力学モデルによる簡易設計方法の提案、の順に論を進める。

②出島復元整備事業 ～つながる出島～

馬見塚 純治 様(長崎市出島復元整備室 室長)

概要: 長崎は、都市の誕生から現在に至るまで世界とつながり続けてきた。その中で出島が果たしてきた役割は大変重要であり、現在その復元事業が進み往時の姿が甦るとともに、様々な調査研究を通して出島の歴史的価値も改めて認識されてきた。復元事業の概要を、発掘調査、出島の顕在化、建造物の復元、表門橋の架橋ごとに説明するとともに、これからも復元が進む出島の活用とまちづくり、そして将来計画などを説明します。

長崎地盤研究会ミーティング:17:00～17:30 / 懇親会:18:00～(会場近辺で開催予定)

※ご参加いただいた皆さんに、建設系CPD協議会(地盤工学会)継続教育参加証もしくは測量系CPD協議会継続教育参加証を発行いたします。

お申込みについて:配布資料準備の参考のため、平成29年6月7日(水)迄に、下記宛先まで、FAXもしくはE-mailにてお申し込み下さい。直接参加も、歓迎いたします。

お申し込み先:長崎大学大学院 工学研究科 システム科学部門 杉本 FAX:095-819-2627 E-mail:s-sugi@nagasaki-u.ac.jp